

特別の教育課程の編成の方針

明和町 小学校 教育課程表

区 分	各 教 科 の 授 業 時 数										道徳の授業時数	外国語活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	特別活動の授業時数	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68 (-34)	68	68		102		34	34 (+34)		34	850
第2学年	315		175		70 (-35)	70	70		105		35	35 (+35)		35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	70	35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	70	35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35		70	35	1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35		70	35	1015
合 計	1461	365	1011	405	138 (-69)	358	358	115	597	140	209	139 (+69)	280	209	5785

* 標準授業時数と異なる授業時数を設定する教科等については、標準授業時数からの増減を（ ）で記入し、網掛けにすること。

○特別な教育課程の編成

小学校第1学年・第2学年で「外国語活動」の時間を週時程表に位置づけ実施する。小学校第1学年で生活科34時間・第2学年で生活科35時間を外国語活動の時間に充てる。削除する生活科の学習内容は、外国語活動の中で補充する。幼・小・中一貫した英語教育を一層推進させる。

○学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

社会や経済のグローバル化が急速に進み、情報通信技術も著しい発展を遂げている今日、コミュニケーションツールとしての英語の重要性が増し、英語を国際語として使いこなせる人材の育成が求められている。本町では、幼児期から英語に触れさせることを通して、豊かなコミュニケーション能力の育成を目指している。今後、グローバル社会に対応できる人材の育成に向け、小学校第1学年・第2学年で外国語活動を実施し、こども園、小・中学校の12年間を見通した明和英語教育プランを作成し、幼・小・中一貫した英語教育を一層推進する必要があると考える。